



令和元年
11月25日

第9号
(文責：教頭)

「ま・け・な・い」を合い言葉に頭と心と体を鍛えましょう！

本気を見せた学習発表会・持久走記録会

10月30日(水)に、学習発表会の児童公開を行いました。この日の合い言葉は「本気を出すこと」でした。どの学年もこれまでの練習の成果を存分に出していました。そして迎えた11月2日(土)の保護者公開日では、さらなる本気を発揮しようと、一人一人が真剣に頑張りました。多くのお客様や家の人が見守る中、子どもたちは演技や演奏に集中し、仲間と協力し、立派にやり遂げることができました。会場となった体育館には、感動の渦が広がっていました。



1年 歌劇 スイミー



2年 劇「アリババと40人の盗賊」



3年 リコーダー合奏と合唱



4年 劇「何でも引き受け株式会社」



5年 ぶち合わせ太鼓



6年 英語劇「桃太郎」

学習発表会から2週間後の11月14日には、白石市緑地公園にて持久走記録会を開催しました。当日は強い風が吹き、ベストコンディションとはいきませんでした。が、体育の学習や、業間に行ってきた「TKR(=体力鍛えるランニング)」によって身に付けてきた力を見せていました。寒い中応援に駆けつけてくださった皆様、子どもたちのために安全支援ボランティアを快く引き受けてくださった皆様方に御礼を申し上げます。おかげさまで、子どもたちはここでも、本気で頑張る体験ができました。



2019小十郎ランニングフェスタ・白石市青少年健全育成市民のつどいで活躍!



11月16日(土)白石市緑地公園にて行われました「ランニングフェスタ」小学生駅伝大会において、本校の代表チーム【写真左】(6年生5名)が、市内外から集まった20チームの強豪がひしめき合う中、見事5位入賞を果たしました。

また、翌17日(日)に白石中央公民館で開かれた「白石市青少年健全育成市民のつどい」では、

本校5年女子児童が、母親とともに、「家庭の日」の実践について、堂々と発表してきました。【写真右】校外でも頑張っている福岡小の子どもたちです。



登別市の小学校から白石市へ義援金が届けられました!

白石市と姉妹都市になっている北海道登別市とんげしの富岸小学校と青葉小学校の皆さんが、今回の台風19号で被害を受けた白石市に対し、自主的に募金活動を行い、義援金を届けてくれました。そのきっかけになったのは、昨年本校の児童が行った「北海道胆振東部地震」に対する募金活動でした。その地震で登別市は震度5弱を記録し、停電や断水などの被害が発生しました。福岡小の子どもたちは震災復興への思いを込めて登別市に寄付金を贈呈しました。その時の感謝の気持ちも込めて、今回の募金活動になったとのこと。まさに「情けは人のためならず」ですね。だれかのためにと活動した福岡小の皆さんの気持ちの素晴らしさが相手に伝わりました。高学年児童が代表して礼状をしたため、市の教育委員会に託して、登別市の2校へ届けていただくことになりました。相手を考える思いやり、すてきですね。

12月の行事予定

- 2日(月) 街頭指導 バス下校指導 福中入学説明会
- 3日(火) 朝会 こまくさ号来校
- 5日(木) 委員会活動
- 10日(火) 朝会 1年生発表 広報委員会 市学力テスト 白中一日体験入学
- 12日(木) クラブ活動(反省)
- 14日(土) 学習参観 全校3校時限 PTA 親子講演会 懇談会
- 16日(月) 振替休業日
- 17日(火) 5学年 お金の教室
- 18日(水) 6学年 租税教室
- 19日(木) 6学年 薬物乱用防止教室 スクールバス引渡し訓練
- 22日(日) ※飲酒運転根絶運動の日
- 23日(月) 冬休み前集会
- 24日(火) 冬季休業日(～1月6日)



寒い日はポケットに手をいれなくて、手袋をはめて登校させましょう!



【お知らせ】 宮城県では、東日本大震災以外の要因によって保護者を亡くされた小中学生のために、奨学金を給付しています。給付型ですので返却の必要がありません。詳細は、宮城県のホームページ「遺児等サポート奨学金」をご覧ください。